

4. 議題および主な意見

基本理念	施策の基本方向・項目	市重点	学校重点	基本施策	第1回学校運営協議会	第2回学校運営協議会	第3回学校運営協議会	第4回学校運営協議会					
					学校運営基本方針の承認について	基本施策番号(9)	基本施策番号(10)	学校評価について					
子どもの生きる力を育む 子どもの豊かな心と健やかな体の育成 子どもの生きる力を育む 2豊かな学力の育成 3教職員の指導力の向上 4学校経営の充実	1豊かな心と健やかな体の育成	○	○	3 道徳教育・人権教育の推進	主な意見 令和4年度は、学校キーワードを「育てよう! 伝える力と聴く力」とコミュニケーション能力の育成に注力していくこと等について学校から説明した。また、各教科での話し合い活動を充実させ、また、継続して取り組んでいる人権教育や道徳教育の推進についても説明した。コロナ禍で他者との交流が制限されている背景もあり、人や地域とのつながりを大切に学校教育を推進していくことについて承認を待た。	議題 読書活動の推進 概要 生徒にどのようにして読書の習慣をつけていくか、様々な意見が交換された。	議題 基礎学力向上のための取組の充実 概要 基礎学力向上のために、学校としてのどのように取り組んでいけるか、家庭での支援をどのようにするか	主な意見 ・学校においては、「わくわく新教室」という時間を年に数回設けて上級生が下級生に勉強を教えている。この取組は、生徒の学力向上だけでなく、異年齢集団のつながりにも効果を上げていると思われる。 ・家庭では、子どもにスマートフォンの使用時間を抑えながら家庭学習の時間を確保しようとしている。					
			○	4 いじめを根絶する取組の推進									
	○	5 健やかな体づくりの推進											
		6 社会性や豊かな情緒育てる教育の推進											
		7 インクルーシブ教育の推進											
	●	8 ICTを活用した教育の推進											
		9 読書活動の推進											
	○	10 基礎学力向上のための取組の充実	基本施策番号(4)	基本施策番号(6)					基本施策番号(11)				
	●	11 英語教育の推進	議題 子どもたちの望ましい交友関係	議題 社会性や豊かな情緒育てる教育の推進					議題 英語教育の推進				
	3教職員の指導力の向上	○	○	12 教職員研修・研究活動の充実					現状の姿 授業では、少人数での話し合い活動などで活発に発言する姿や相手の考えを尊重する姿も見られる。しかし、自分の思いを相手に伝えることが苦手であったり、コミュニケーションをとることが十分にトラブルにつながったりする場合もある。トラブルや課題を自分たちで解決する力や他者の考えを想像する力を育てていく必要がある。	議題 合組コンクールを参照した後、それまでの取組や仲間づくり等について様々な意見が交換された。	概要 小中を通して「英語が好き」という生徒を増やすため、どのような取組が考えられるか。		
				13 教職経験に応じた人材育成の推進					主な意見 ・人は自分の考えや思いを出して、他者と意見をぶつけ合いながら成長していく部分がある。 ・意欲の子どもは、基本的に授業に大人の言うことを聞くのでは感じている。 ・小学校では、登下校時にマスクをはずすように指導をするのがなかなかはずすはしない、他は運動をとることに抵抗を感じているのではないかと、自己肯定感を認めるような支援が必要。	主な意見 ・合組本番の様子を見て、一生懸命練習したことが伝わってきた。 ・学校の人数が少ない中で、大きな声が出ていて、歌声が体育館に響いていた。 ・普段の生活の中で、「静かにすること」を強要している。「大きな声を出さない生活」に慣れた時、集団生活を身に付けさせる一環としてどのようにメリハリを生徒に付けさせるかが今後の課題になる。	概要 小中を通して「英語が好き」という生徒を増やすため、どのような取組が考えられるか。		
	4学校経営の充実	○	○	14 教職員の健康管理と働き方改革の推進					主な意見 ・人は自分の考えや思いを出して、他者と意見をぶつけ合いながら成長していく部分がある。 ・意欲の子どもは、基本的に授業に大人の言うことを聞くのでは感じている。 ・小学校では、登下校時にマスクをはずすように指導をするのがなかなかはずすはしない、他は運動をとることに抵抗を感じているのではないかと、自己肯定感を認めるような支援が必要。				
		○	○	15 地域の活力を生かした特色ある学校経営の推進									
			○	16 教職員の指導体制・学校支援体制の充実									
			○	17 配慮を要する子どもへの支援体制の充実									
	成果および課題								就学前・小学校・中学校での円滑な接続や、地域・家庭・学校の連携を密にしていることを共通理解した。	生徒の活動を実際に参観することで、本校生徒の現状把握をさせていただくことができた。また、日常の活動が、コロナ前の状況に戻った時の危険な恐れることについて貴重な意見をいただいた。 給食を試食することで、生徒の栄養の摂取状況を確認できた。	校内の掲示物を閲覧していただくことで、各学年の様々な取組の様子を知ることができた。スマートフォンを生徒に持たせていない状況下の校外における安全確認の構築など、学校だけでは難しい課題の提示があった。 その他、不登校生徒の校外での組織等の情報共有がなされた。	*今年度は「合組コンクール」を鑑賞する機会や、掲示物を見る機会が設けられたことで、生徒の実践の姿をもとに協議会での意見交換が活発になった。具体的な活動を見学することで、学校方針が円滑に理解に移されているか、また、学校の教育方針の重点を確認できた。 *次年度以降、生徒の学習の姿を参観する機会を提供していく。	